

分会情報

J R 東海 労 大 阪 仕 業 検 査 車 両 所 分 会

No. 9 8 2 0 1 4 . 7 . 2 6

発 行 責 任 者 柿 本 克 彦

編 集 責 任 者 教 宣 部

7月18日、大阪仕業検査車両所で、X46編成の電車がパンタグラフ点検

作業指示ミス！ パン点検のため再度庫入れ！ これって問題になっていないの？

(パン点検)対象であるのに、当直は作業指示を出しませんでした。そのため、現場社員は通常の申告作業を終了させ、電車は出庫していきました。しかし、このことに気付いた当直は慌てて電車を再度入庫させ、パン点検を指示するという事象が発生しました。

しかし、現場では「なぜ、このようなことが起こったのか？」という理由だけでなく、こんな事象があったことすら知らされていません。点呼で注意喚起もありません。もし、これが反対で現場社員がパン点検を失念させていたなら、とんでもないことになります。担当社員は長時間、事情聴取され、時系列等報告書を書かされ、注意指導され、点呼等で広く事象を明らかにされます。

これで平等？！ 現場社員に厳しく！ 当直にはやさしい？！

現場社員には担当助役が常に点検と称して張り付き、検査の手順や喚呼など事細かくチェックし、報告し、これがボーナスカットの事由としてきました。また、これまで数回あった無加圧時のVCB誤投入など、電車を故障させたわけでもないのに重大ミスをしたかのように長時間、事情聴取され、点呼等で広く注意喚起されています。そして現場社員に対しては正対してスイッチ扱いをするように強く指導されています。当直にはどうなのでしょう？

管理者はミスを見つけるだけが仕事なのでしょうか？！

私達は、ミスを見つけ、チクリ合うことには賛成しません！！

人間はミスをするものです。それを責めるだけではミスはなくなりません。都合の悪いミスを隠すのではなく、ミスの原因を明らかにし、処罰的ではない対策を講じるべきです。

みなさん！！平等で明るい職場にするため声を上げていきましょう！！